

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 18 年度第 11 回)

日時 昭和 19 年 2 月 2 日 (水) 自 12 時 30 分至 15 時 30 分

會場 鐵道ホテル

出席者 會長松下長久 副會長三島徳七 理事網谷俊平 池田正二 石原善雄 志村繁隆 藤村哲之 前會長河村 驍 水谷叔彦 渡邊三郎 監事吉川晴十 常務委員志村清次郎 主事金谷三松

協議事項 1. 來年度改選役員候補者推薦 (理事滿期者 7 名, 監事滿期者 1 名, 評議員 滿期者改選, 並に留任者中補缺, 各記念資金委員補缺推薦). 2. 定款改正の件 (第 14 條中の理事 7 名を 9 名に増員の件, 及び第 35 條中の會費を正會員の會費を 1 ケ年金 12 圓, 准會員の會費を 1 ケ年金 10 圓に改むるの件) 承認. 3. 今春 4 月第 29 回通常總會に於て表彰すべき候補者の推薦. 4. 今泉資金規則に依る研究費贈呈者の餘衡. 5. 第 31 回講演大會次第書決定. 6. 昭和 19 年 4 月迄の行事豫定期日案盡. 7. 昭和 18 年度收支決算及び昭和 19 年度收支豫算の審査及び編成. 8. 昭和 18 年 12 月分收支決算審査承認. 9. 會員異動統計表.

| | 維持會員 | | 贊助會員 | 正會員 | 准會員 | 計 |
|--------|------|-----|-------|-----|------|------|
| | 名譽會員 | 會員數 | | | | |
| 入會者 | — | — | — | +35 | +49 | +84 |
| 退會者 | — | — | — | — | -6 | -6 |
| 死亡者 | — | — | — | -1 | -3 | -4 |
| 轉格者 | — | — | — | +2 | -2 | — |
| 1 月末現在 | 16 | 80 | (214) | 23 | 3061 | 3937 |

退會者氏名 准會員 中鉢矩雄君 二藤 申君 石原 功君
柿崎虎之助君 青木貞夫君 今宮元隆君
死亡

| | | |
|-----|--------|-------------------|
| 正會員 | 守安 憲君 | 昭和 18 年 12 月 16 日 |
| 准會員 | 小鹽正次郎君 | 昭和 18 年 11 月 21 日 |
| " | 廣澤 弘毅君 | 昭和 18 年 12 月 23 日 |
| " | 小林 繁樹君 | 昭和 18 年 12 月 27 日 |

逝去せられたり哀悼に堪へず、茲に謹みて弔意を表す

報告事項 1. 鹽基性平爐研究會第 4 回幹事會

日時 昭和 19 年 1 月 13 日 (木) 自 17 時 30 分至 19 時 30 分

場所 丸ノ内會館

出席者 委員長吉川晴十君 芥川 武君 甲藤 新君 田中清治君 依 信次君 金谷主事

協議事項 i. 來る 1 月 31 日 (月) 委員總會開會の件
ii. 同上準備として 17, 18 兩日協會に於て既提出表記の事項に就き一應檢討のことを甲藤幹事及び竹入信君へ御依頼すること

2. 昭和 18 年度第 8 回月例講演會

日時 昭和 19 年 1 月 22 日 (土) 自 13 時 30 分至 15 時 20 分

場所 有樂町鐵絲會館 4 階講堂 出席者 142 名

講演 強靱鋼に於ける合金元素の作用

株式會社日本製鋼所 ○○製作所

技術研究所第二部長 工博工 萩原 巖君

3. 鹽基性平爐研究會第 3 回委員會

日時 昭和 19 年 1 月 31 日 (月) 13 時 30 分~19 時 30 分

場所 澁谷 玉電ビル、海軍鐵鋼工業會々議室

出席者 委員長吉川晴十君 幹事芥川 武君 (東大一) 甲藤新君 (室蘭) 田中清治君 (東大一) 依信次君 (海技研) 委員 赤澤信六君 (吳工廠) 芦原光太郎君 (神鋼) 小田助男君 (住鋼管) 岡本顯二君 (日特) 金森九郎君 (室蘭) 桑田賢二君 (日鋼川崎) 武田喜三君 (八幡) 赤羽正輝君 (住鋼) 藤村哲之君 (日鐵技) 森華藏君 (光工廠) 佐々川清君 (艦本) 竹入 信君 (日立 ○) 主事 金谷三松

協議事項 各委員より提出の表には數字に可成りの開きあり今一度表を明確にし作り直すこととなる。

訂 正

第 30 年第 1, 2 月號 43 頁所載 日本鐵鋼協會記事 中 會費増額の件正會員 13 圓とあるは 12 圓の誤につき訂正致します。

寄稿される方へ

- 鉛筆書の原稿 は印刷所へ廻りますと、採まれて字が消えてゐることがあります。殊に表の小數點などが分らなくなります。
- 古い講演の原稿 は講演回数が見つかり難くて、投稿と思はれて、掲載が遅くなつたことがあります。
- 肉眼組織の寫眞 は用紙の関係で、どれも皆同じやうになつてしまひます。
- 寫眞を本文 の中に直接貼りますと、製版するのに剥がれますから、原稿が破れます。